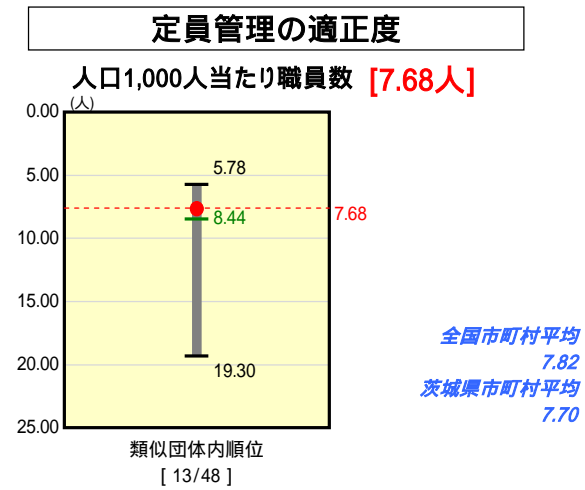
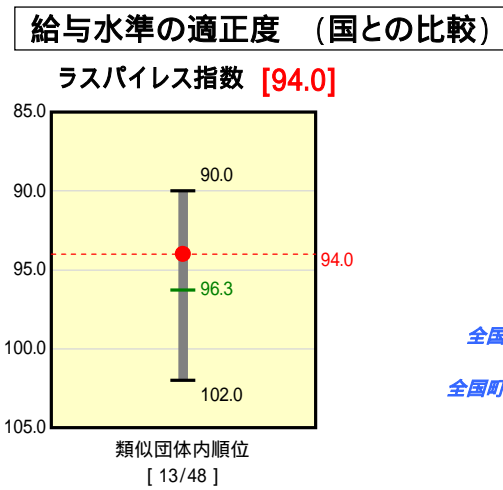
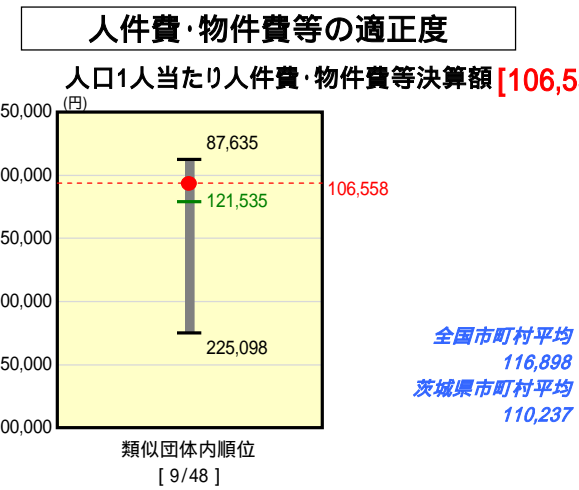
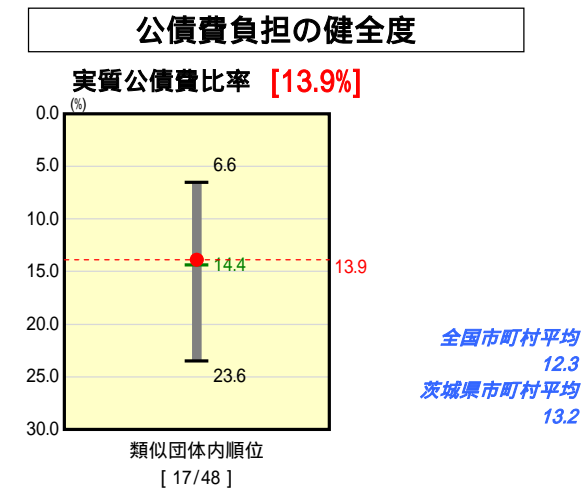
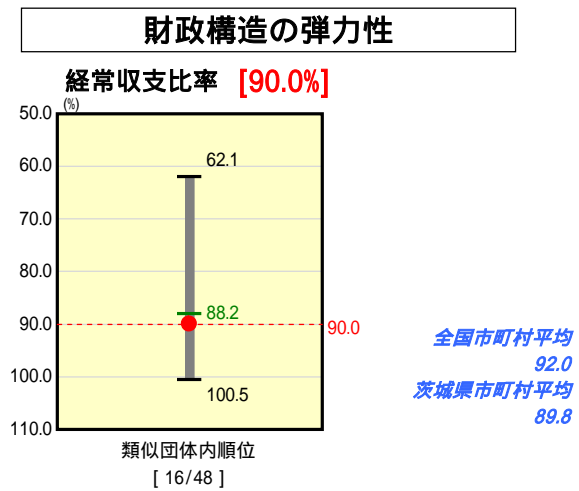
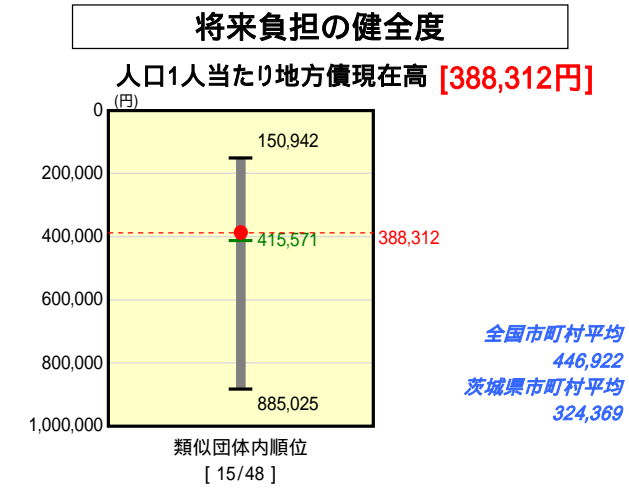
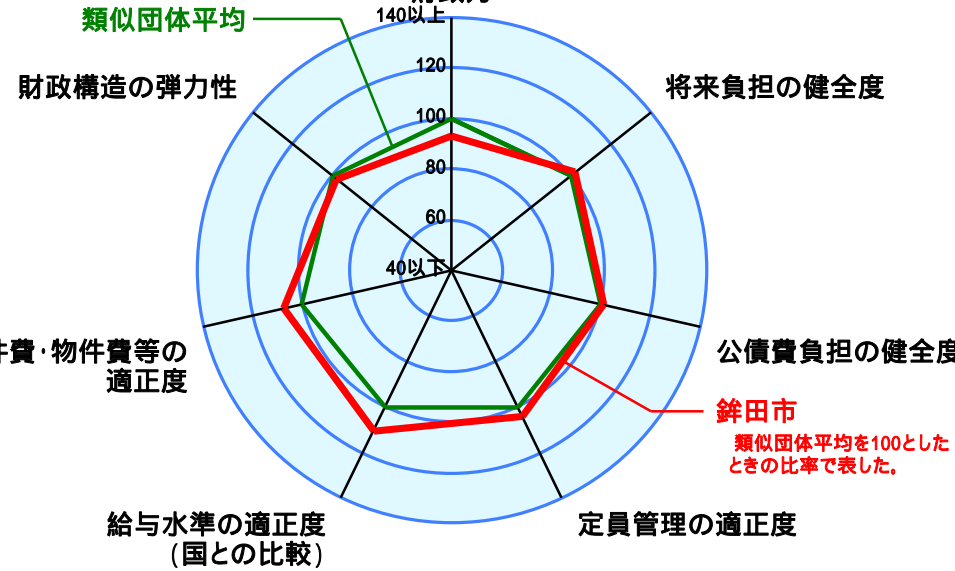
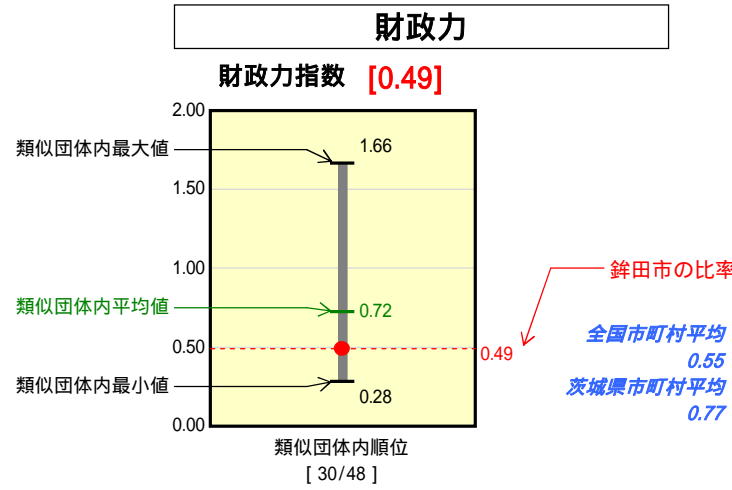


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県 銚田市

人口	52,079	人(H20.3.31現在)
面積	203.90	km ²
歳入総額	17,379,347	千円
歳出総額	16,638,237	千円
実質収支	603,984	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】

上昇傾向にはあるが、全国平均を上回る高齢化率(20年2月末25.6%)に加え、市内に中心となる規模の大きい企業もないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。今後は、歳入確保として、さらに徴収力強化を図るとともに、歳出削減においては、事業評価等を活用し、引き続き事業の見直しを進める。

【経常収支比率】

人件費及び物件費等の抑制により、17年度:95.4%、18年度:92.1%、19年度90.0%と改善しているものの、依然類似団体平均を上回っている。今後は、コンビニ収納の活用等により、歳入確保に努めるとともに、特に物件費、補助費を重点的に経常経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】

類似団体平均を下回っている。これは、人員削減や委託料の削減によるところが大きい。さらには、合併のスケールメリットも考えられる。今後は、類似団体平均を下回るように歳出削減に努める。

【ラスパイレス指数】

管理職手当の定額化、通勤手当等の大幅な見直し等を進め、類似団体平均を2.3、全国平均を3.9下回っている。今後も、より一層の給与の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】

新規発行の抑制により、市債残高は減少しており、類似団体平均を下回っている。今後は合併特例債の本格的な発行を予定しているが、類似団体等の数値等も考慮しつつ、財政の健全化を図る。

【実質公債費比率】

類似団体を2.2%下回り、14.1%となっているが、今後、下水道事業等が本格化するため、比率の上昇が予想されるが、普通会計の起債の抑制や合併特例債を有効に活用した事業を進め、計画的な公債費の削減に努める。

【人口1,000人当たり職員数】

定員適正化計画に基づき、退職者の補充抑制等により、人員削減に努めており、類似団体平均を下回っている。今後は適正な定員管理に努める。